

2003 1-10
Vol.190

発行所 習志野商工会議所
発行人 志村 征一
〒275-0016 習志野市津田沼 5-12-12
TEL 047 (452) 6700
FAX 047 (452) 6744

URL...http://www.narashino-cci.or.jp
Eメール...key21@narashino-cci.or.jp

商工習志野

NARASHINO CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY

目次

- 1面 新年あいさつ(会頭・市長)
- 2・3面 新春特集「産学官交流」
谷津駅前環境整備事業、女性会
20周年事業を開催
- 4面 新春広告
- 5面 トピックス・会議事業予定、
eビジネス、インフォメーション
- 6面 あのお店この工場・会員プレゼント

新会館完成に向け全力を

習志野商工会議所会頭 志村 征一



会頭 志村 征一

対しまして、重ねて御礼申し上げます。

さて、先行きが見出せないままに景気の低迷が続いています。が、こうした時代にこそ、商工会議所としての明確な事業方針を示し、会員の皆様のご期待にお応えしなければならぬと常に頭を悩ましております。

新年、明けましておめでとうございます。旧年中は、会員の皆様から、習志野商工会議所の事業に対しまして心温まるご支援を賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。

また、新会館の建設に際しましては、景気厳しき折にも関わらず、会員の皆様から、絶大なご支援を頂戴いたしました。おかげさまで、本年3月末の完成に向けて、順調に工事が進捗しております。皆様のご厚情に



▲地域経済振興の活動拠点として(完成予想図)



に、一、本市産業の振興拠点として、二、企業経営・街づくりに関する情報の発信拠点として、三、産学官民の交流拠点としての役割を果たせるよう、企業の経営支援に必要な専門知識や人材、ITなどの機能が集中した施設とすべく取り組んでおります。

一例を挙げますと、新会館を

年頭にあって

習志野市長 荒木 勇



産業振興の拠点とするために、市内大学の助言を得て先進的な情報システムを導入するほか、収容人数や用途に応じて使い分けられることができる大小会議室は、各種会議や研修などにご利用いただけるのははじめ、展示会などにも対応できます。また、機能性を重視した事務室には、安心して相談を受けられる経営相談室、記帳指導室などが設けられ、各種のご相談に気軽にお越しいただけるものと存じます。

習志野商工会議所の目指すところは、豊かな都市づくりの実現ですが、新会館の完成を契機に、産学官民が共通の意識をベースに、一体となって習志野市の基礎づくりをしていきたいと思っております。

中小企業の振興は、地域の活性化と発展の源泉でございます。習志野商工会議所では、会員との信頼をもとに、産学官が手を携えて勇気をもって変革に挑戦し、地域社会の活力づくりに貢献してまいりますので、会員の皆様、市民の皆様の更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



習志野市長 荒木 勇

ておられた、商工会議所会館の建設が本年3月末の竣工を目指し着々と進んでおります。新会館は誰もが利用し学べる地域経済振興の活動拠点として、かつ本市産業振興の拠点としてオープンな会館になることを期待しております。

また、今年、イオンやロイヤルホームセンター、更には日産カレストがオープンしますと、本市は県内でも上位の商業力を有することになります。一方で、大型店の出店は、商業環境に大きな変化をもたらしますので、調和のとれた街づくりが損なわれないよう、そして、地元の小売業者の方々は、共存共栄になるよう十分な配慮もしていかねばならないと思っております。

新年、明けましておめでとうございます。習志野商工会議所の会員の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、心からお祝い申し上げます。

長引く景気低迷により失業率が高まり、雇用や財政不安が募る混沌とした時代にあつて、商工会議所では、創業・起業のひとりのきつかけとして、大久保の「まがりや」をはじめ谷津の「陽だまり」を提供するなど地域密着型事業に取り組み、積極的に地域振興の活性化に貢献していただいております。

また、会員の皆様が望まれる、新会館の完成を期して、昨年、地方分権の推進とこれに伴う協働型社会を構築するため、21世紀を基本とした基本構想のもと、新基本計画を推進し、確かな一歩を刻むことができた一年でありました。特に、市民生活の向上と自然環境を重視する観点から、多様化したごみに対応する新たな処理方式である「ガス化・高温溶融一体型直接溶融炉」を採用し、ダイオキシン対策は国基準を大幅に上回るなど、環境への配慮がなされた新清掃工場が完成いたしました。今年、さらに、ハミングロードの再構築や街づくりパートナーシップ

新たな年のはじめにあって、習志野商工会議所各位のご健勝とご事業のご繁栄を心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

「商工習志野」は再生紙を使用しています。この会報は、当所ホームページでもご覧頂けます。

マルケイ融資をご利用下さい「年利1.35%で1千万まで(1月6日現在)。無担保・無保証人」

「あじさい共済」新規加入 92 件、増口 12 件、ご協力ありがとうございました。

URL...http://www.narashino-cci.or.jp
Eメール...key21@narashino-cci.or.jp

のパートナー

交流の架け橋に

新春企画



市民と産学官協働の産業振興を

習志野市長 荒木 勇



習志野市は、高度成長経済とともに、首都圏のベッドタウンとして発展してきました。こうした中でも産業は、昭和30年代の大手工場の誘致をはじめ、戦後からの京成沿線の商店街の発展や50年当時の大型店の出店があり、大学も「千葉工業大学」、「日本大学」、「順天堂大学」、「東邦大学」があり、まさしく、習志野には産業と学問の両方がある都市でありました。今我が国は、大きな変革期に来ており、習志野市も将来に向けて自立した都市としていくためには、その起爆剤である大学との連携が、大変重要なこととなっております。

そこで平成13年度から、市民も含めて、産学官連携で産業と地域を活性化させる「産業振興計画」の策定に取り組んでいるところでありますが、今年度はそれを完成させ、市民、産業界、大学、行政のそれぞれの役割を確認しあい、力を合わせて習志野市全体の活性化に向かっていこうと思っています。

習志野市にとって、産業界への期待はもとより、大学の教員や学生、それに施設の市民活用に大きな期待をしています。これは今、日本経済全体に元気がありませんので、特に本市のような地域社会における産業界には、市内の大学から市内企業へ就職する学生さんが大勢出て、活性化に貢献していただけるよう願っています。

また、市民の高齢化も進んでおりますが、昔とは違い、まだまだ元気で地域社会で活躍できる方が大勢います。そして、現役で働いている方にも、より高い知識や技能を身につけ、高いレベルで人生を前向きに生きていこうと考えている方も多いと思います。

そこで、これらの方々のために大学の施設の活用や、また、いわゆるリカレント教育や公開講座などが行われることは、大変有意義なことと考えています。

本市では、21世紀の新基本計画で「協働」という言葉をキーワードにいたしました。これは、行政だけでは、人的にも財政的にも都市や地域社会の運営が困難な時代であると思うからです。

現在、習志野市の3つの大学には、約2万人の優秀な学生さんや教員の皆さんがいると聞いています。これらの方々の研究の成果や持っているエネルギーを大学という枠の中だけでなく、地域の皆さんとともに生かしていただけることを期待しています。そして、お互いの協働の関係をより強固なものとし、習志野という地域社会を産学官連携でますます発展させていきたいと思っております。

大学との連絡窓口の設置を

千葉工業大学理事長 豊田 耕作



千葉工業大学は、昭和17年(1942年)に国家の要請を受け興亜工業大学として設立され、その後、千葉県に移り現在の千葉工業大学になったものであります。したがって、設立以来60年を経過し、また、戦後習志野市に移転してからも50年以上を経過して、名実ともに習志野市に根付いた大学であるといっても過言ではないほどです。

習志野市に移転してきた時には、学生の数もかなり少なかったのですが、現在では約1万人になり、単科工業大学としてはかなりの規模で、日本でも有数の工業大学に発展しました。そして、卒業生も5万人を超える程になり、日本をはじめ海外でも活躍しています。卒業生にとっては、習志野市、特に津田沼付近で過ごした何年間も、一生の思い出として永久に残るものと思われれます。

さて近年、産官学の連携が色々話題になることが多いのですが、すでに我々の大学の教員は何らかの形で習志野市の行政に、また市内企業に協力し、かなりの成果を挙げていることも事実であります。しかし、正直な所まだまだといった感じが強く、その理由として一般市民に対して大学の敷居が依然として高いということが挙げられますが、実際は、大学はむしろ市民の申し出を待っている状態であると考えて下さい。しかしながら、大学に訪れるのが初めての方にとってはやはり抵抗があることも十分理解出来ますので、もし可能ならば、習志野商工会議所の一隅に市内大学の連絡所を設けて、どなたかが常勤し、新しい相談事があればすぐに大学に連絡していただければと思います。そして、このことが市民と大学との潤滑油となり、地域に密着した大学としてお役に立つひとつの手段となることは明らかであります。

また、大学には1万人近くの学生がおり、学生間のクラブもたくさんありますので、色々市民のお役に立つことが出来るものと考えています。現に、吹奏楽同好会は習志野市のお祭りに参加して好評を博していますし、市民の皆さんがもっと学生との交流を積極的にお考えになれば、もっと面白いことが出来る可能性が高いと思われれます。このようなことを含め習志野商工会議所が斡旋して頂ければ、より効果的であると考えられます。

まだまだ緑の多い習志野市が、その環境に即しながら商業、工業の発展を考えるならば、ある意味では大学の存在は大きいのではないかと考えられます。我々千葉工業大学としても、市民との交流が盛んになり、ひいては習志野市がますます発展し、文化的にもより充実した街になることを切に希望しております。

平成15年度に取り組み主な事業

インターンシップの窓口開設

学生が企業で短期間業務を体験するインターンシップ。その受入れ企業との窓口を新

会館内に設置します。

※昨年度の派遣受入先企業
株小出ロール鉄工所、(有)金野製作所、三幸工業株、(株)ダイエー津田沼店(順不同)

研究員、技術・技能者派遣

大学のもつ専門技術や特許に関する相談窓口を開設するとともに、企業が直面する技術的問題に、研究員や技術・技能者を派遣します。また、産業振興センターや東葛テクノプラザとの連絡窓口としても活用できます。



▲施設見学会(東邦大)

交流サロンの開設

新会館内で大学のゼミやセミナーを行うなど、大学と身近にふれあう場を提供します。また、各大学における研究開発や先生方を、会報やHP等を通じて紹介していきます。



▲施設見学会(千葉工大)

人材(学生)の紹介・確保

優秀な学生を地元企業に紹介(就職、アルバイト先の提供)することで、市内産業の活性化を推進するとともに、より高い知識やレベルをもった即戦力の人材を確保できる環境を整えていきます。

*事業の実施にあたっては、工業部会、物づくり技術委員会を中心となって実施していきます。



▲職場実習(日大)



▲谷津小学校吹奏楽部による記念演奏

谷津駅周辺環境整備 第一期工事が完成

人に優しい街づくりをテーマに、谷津ハートピア構想の一環として進められている谷津駅周辺環境整備の第一期工事がこのほど完了し、12月14

日(土)、谷津駅北口太陽の広場で街路灯設置(5機)、②風力発電用の風車の設置、③遊歩道への人工芝の設置、の各施設で、風力発電用の風車については、ヨットで単独太平洋を横断した海洋冒険家堀江健一氏が、航海中に使用していた風車と同じ型を使用しているそうで、谷津駅南北を結ぶペDESTリアンデッキの安全燈の発電などに利用されています。また、東西に伸びる人工芝には、ローズハート倶楽部に



▲街路灯(左)と風力発電風車

よる「花の遊歩道」が設置され、街いっばいに花が溢れています。今年の8月までには南側のエスカレーター、エレベーターが設置され、全ての工事が完成するそうで、南北バリアフリーの実現に向けて、谷津駅周辺が生まれ変わります。

大学は企業 —市内大学との

活力に満ちた 調和ある発展を願う

日本大学生産工学部長 大谷 利勝



日本大学は14学部、18大学院を擁する総合私立大学であり、生産工学部は昭和40年理工学部より分離独立して創設されました。その歴史は、前身となる昭和27年の工業経営学の設置を起点としておりますので、平成14年に学部創設50周年を迎えました。日本の大学制度は明治以降欧米の制度を導入してはじめてられましたので、伝統ある大学でも百数十年の歴史ですが、欧米の伝統校では数百年の歴史を有しております。その中で理学部より工学部は産業界に近い学部として創設されており、理学部より歴史が新しいのが通例となっております。そういった流れからすると、本学部は工学部よりさらに産業界に近い学部として創設され、経営が理解できる技術者の育成に努めております。本学部には津田沼(泉町)、実町の両キャンパスがありますが、いずれも表示は習志野市となっております。本学部は機械、電気電子、土木、建築、応用分子化学、管理、数理情報の7学科よりなり学則定員は1400名となっております。

学部創設時より産学交流に力を入れており、その一つとして学外における企業実習(生産実習)を全学科必修として一貫して実施してきました。これが文部科学省のインターンシップ導入の要請に適合するものとして評価されるようになりました。平成15年度より、関東地域インターンシップ推進協議会が本学部におかれることとなっております。平成13年度より、企業等で勤務を続けながら研究指導を受けて博士課程への道を開く大学院後期課程に社会人入学を認めていますが、平成14年3月この制度によるはじめての修了生5名が学位を取得しました。それぞれの職場でのいっそうの活躍を期待しています。この制度は大学院博士前期課程修了、あるいは大学卒でなくても受験の門戸を開いております。

日本大学は産学連携機関として国際産業技術・ビジネス育成センター(NUBIC)がありますが、それ以前から本学では生産工学研究所内に工業技術相談室を設けて技術相談に応じています。また、千葉県東葛テクノプラザにも連絡室を設けて相談に応じていますし、大久保商店街の活性化にもお手伝いしています。大学・学部も地域社会の一員であり、地域の発展、振興の一翼を担うべきものであると考えます。戦後軍事施設の移管をうけて発展してきた本学部は、習志野の皆さんとは深いご縁をいただいております。習志野という名が示すように軍都から戦後学都へ、さらに都市化へと発展した習志野市の活力に満ちた調和ある発展を願うものであります。

地域企業との交流を密に

東邦大学理学部長 岡田 光正



年頭にあたり、習志野商工会議所の益々のご発展を祈念いたしますとともに、地域の大学としての東邦大学の現状をいくつかご紹介させていただきます。

まずは、東邦大学の就職状況ですが、就職室が、薬学部・理学部両方の学生の就職を支援しています。3年後期のガイダンスに始まり、各種の就職講座や学内での企業説明会を数回行います。同時に学生自身もインターネットでの企業探しをします。現在の内定状況は昨年並みで、普段の学業成績とは一寸別で、状況把握能力や人との対応能力が優れている学生が良い結果を出しています。

次に、地域企業との関連ですが、学生は最初は都内の企業を対象に就職活動を始めます。学生の中央志向と、地域にどのような業界・業種があるのか、また実際に求人があるのかも解っていない情報不足が原因でしょう。就職室に御当地コーナーを作るのも良いかもしれません。学生が始めた「大久保クラブ」が商店街のイベントに協力していますが、大学側も「産官学懇談会」による交流がより実りある街づくりに役立つように心掛けております。

最後に、これからの課題としては、これまで理学部は、教育・研究の面で内向きだったと思います。むしろ、学生の方が就職活動などを通じて社会と接して来ました。これからは学部自身の教育方法・内容も社会の要請に対応していく必要もあろうかと思っております。インターンシップ制度も3年目になりましたが、在学中に大学以外の実社会の模擬体験をすることが、入社後の違和感や早期転職の防止だけでなく、視察に行く教員の意識向上にも役立つものと期待しています。地域の企業との例はまだ少ないのですが、これをきっかけに、技術相談や企業の方からの訪問が増えればと思います。これまで技術移転は個々の教員ではいくつかありますが、大学としての構想はまだ未熟です。大学の研究紹介コーナーの設置やホームページを充実することで、大学に気楽に立ち寄れるようになって、その中から、企業が何か学内の面白い技術を捜せるようになればと思います。このような課題は、東邦大学だけの問題ではないと思いますが、今後、大学間の提携をもとに、その立っている根拠である地域の発展を併せて考えていきたいと思っております。

創立20周年記念式典を開催 (女性会)

福祉活動やイベントを通して地域社会に貢献してきた習志野商工会議所女性会(会長・浜名靖子氏)が、昨年の11月27日に創立20周年を迎えたのを記念して、式典をはじめとするメモリアルイベントを左記の通り開催します。みなさん、ぜひご参加ください。

「やすらぎコンサート」 in ならいっこ

日時 平成15年3月16日(日)
開場 12時30分
開演 午後1時
場所 習志野文化ホール
内容 第1部 習志野高校吹奏楽部による演奏会



女性会会長
浜名 靖子氏

記念式典

日時 平成15年2月12日(水)
午後2時
場所 サンペデック小ホール、銀座アスター津田沼賓館
内容 第1部 記念式典
第2部 オカリナコンサート
(佐藤一美、ジャズバンドコンサート)

*その他、「記念植樹」や「記念誌発行」を予定しています。



障害を持った方のための マイカー点検・整備講座を開催

12月7日(土)、カドック トウホウ(代表取締役 山口昭彦氏 当所会員)で、市民を対象とした「第1回 障害者を持つ方のためのマイカー点検・整備体験DIY講座」が、習志野市の後援で開催されました。

一昨年、同社で実施したマイカー点検教室に身障者の方が参加したのをきっかけに、障害者の方にも車をもっと身近に感じてもらうと、山口社長が市の障害福祉課に呼びかけ実現したもので、県内では初となる試み。

午前と午後に分かれて実施された講習会では、法的強制力がないためおろそかにされがちな12ヶ月点検整備について、約2時間にわたりプロの整備士とマン・ツー・マンで実際の整備を体験しました。今回参加した鷺見(すみ)さん(津田沼在住)は「車がどうなっているかを知りたい」と愛着がわきました」と感激した様子。



▲マンツーマンで整備を体験



▲自分の車は自分で整備

山口社長は「もっと広くPRして、多くの方々に参加して欲しい」と思っています。地域に根づいた整備工場を目指し、今後も継続して実施していきます」と、今年度以降も無料体験を開催していくそうです。

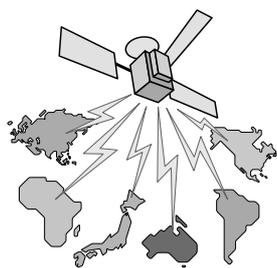
「情報デザイン」とは情報の整理法 「てんこ盛り」は最悪



今回は「情報デザイン」ということを考えてみよう。情報デザインとは「情報を意味のある塊で整理する」ということである。ホームページでは、この整理がことのほか重要である。

例えば、トップページにはよく「新着情報」という項目が載っている。お客様にお知らせしたい最近の出来事ということだろう。だがよくよく眺めると、その隣には「トピックス」「お知らせ」「特集」などという項目も並んでいたりする。一体それぞれどこが違うのだろう、と利用者は悩んでしまう。情報デザインが悪いとは、一言で言えば、情報の整理の仕方が下手だ、ということである。

なぜ、このような事態が起こるのか、理由の一つは、担当者の頭の中がよく整理されていない、ということもある。だが概して、企業としてホームページで取り上げるべき情報の重要性が整理されていない、ということだ。



例えば、中小企業もホームページを作るとき、次のようなことに悩むはずだ。「わが社は、消費者のお客様と企業のお客様がいるが、どちらを重視すればよいだろうか?」「わが社には、たくさんのお取り扱い商品があるが、どのような順番で紹介すればよいだろうか?」「企業紹介、学生のリクルート情報、営業案内、商品利用

会議・事業予定

1月~2月上旬

中旬

14日(火) 年末調整指導会 (11時~サンロード6階)
15日(水) 第103回簿記検定受付開始 (29日)

下旬

21日(火) 第51回販売士検定受付開始 (24日)
21日(火) 金融検査マニュアル説明会 (15時~サンロード6階)
23日(木) 会館建設特別委員会・代表者連絡合同会議 (11時~サンロード6階)
28日(火) 習志野ベンチャーN

ETS (18時~ホテル松翠館)

2月

9日(日) 第167回珠算検定 (9時~市立第五中学校)
12日(水) 女性会創立20周年記念式典 (14時~サンベック)
13日(木) 工業部会・貿易振興会合同視察 (成田市・流山市)
田中部会長
浜名会長

インフォメーション

★金融検査マニュアルにかかわる説明会
日時 平成15年1月21日(火) 午後3時
場所 IIサンロード津田沼6階会議室
問合せ II習志野商工会議所 小企業支援室 (452) 6700

★パートタイム助成金について
パートタイム労働者の雇用の改善を図り、その能力を活用したいと考えておられる事業主の皆さまへの助成金です。

★平成15年度償却資産の申告について
事業の用に供している資産(構築物、機械、備品等)で、平成15年1月1日現在所有している償却資産については、平成15年1月31日(金)までに申告していただくことになっていきます。なお、事業者の方々

★助成対象となる事業主
①労働保険・雇用保険の適用事業主で、②中小企業事業主であること。

★決算・確定申告指導会
習志野商工会議所 小企業支援室では、左記日程で「決算・確定申告指導会」を無料で開催します。
日時 II 2月18日(火)、2月21日(金)、2月27日(木)、3月4日(火)、3月5日(水)、3月6日(木)、3月7日(金)、3月11日(火)、3月13日(木)、3月14日(金) いずれも、10時~16時 (12時~13時は昼休み)
場所 II サンロード津田沼6階
必要書類 II 現金出納帳、経費帳、売掛帳、買掛帳、保険料控除証明書、国保証明書、年金の振込額を確認できるもの、小規模企業共済控除証明書、決算書、確定申告書用紙、平成14年度の決算書及び申告書控え、印鑑
問合せ II 小企業支援室 (452) 6700

表 単位: 1人当たりの金額

助成対象となる措置	中規模事業主	小規模事業主
1. 雇入れ時健康診断	2,400円	3,600円
2. 定期健康診断	2,400円	3,600円
3. 人間ドック	3,500円	5,200円
4. 生活習慣病予防健診	1,300円	2,000円
5. 基礎的知識の講習	1,400円	2,100円
6. 保険・共済の掛金負担	4,000円/年	6,500円/年
7. 通勤に関する便宜供与	8,600円/年	12,400円/年
8. 福利制度の導入	120,000円	150,000円

* 常用労働者30人以上=中規模事業主
* No8は1回限り

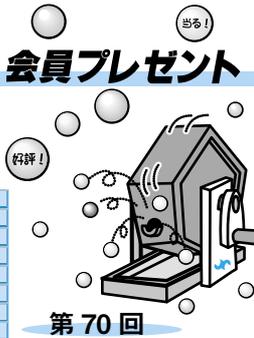
助成の内容
①左表の措置を新たに実施する場合。②改善計画書・従業員数により、15~20万円支給。
問合せ II 助21世紀職業財団千葉事務所 043(225)2295

* 常用労働者30人以上=中規模事業主
* No8は1回限り

M&M研究所代表
三石 玲子

(事業所名)		(氏名)
(住所)		(電話)
(第1希望番号)	(第2希望番号)	(第3希望番号)
「商工習志野」の感想・習志野商工会議所へのご意見		

現在までの アクセス数	応募総数 3405
	当選者数 1579
	提供企業数 0072



①ドコモテレカモバイルズチェック 5名様
②「写ルンです」 5名様
③携帯ストラップ 9名様
④エンジンオイル年間パスポート2名様

ドコモショップ津田沼店提供
前 ☎(476) 1100 様の提供により、ドコモテレカモバイルズチェック(1000分)を5名様に。お気軽にお電話・ご来店ください。
(有)高山写真館【津田沼1-2-11 ☎(472) 3200】様の提供により、使い捨てカメラ「写ルンです」を5名様に。晴れ着・成人式にいかがですか！。お客様の真心を写します。お気軽にお越しください。
ギフト・ノベルティの企画・制作・販売の(有)ベネフィット【津田沼3-2-16 ☎(478) 0188】様の提供により、携帯ストラップを9名様に。パーティー商品を各種取り揃えています。
あなたの街のカーライフサポーター(有)織戸自動車整備工場提供
自動車整備工場【谷津4-8-36 ☎(451) 2660】様の提供により、エンジンオイル年間パスポート(15年3月まで)を2名様に。車のことなら全ておまかせください。

会員紹介
あの店この工場
No 167

「新三輪自転車を世界に」
(株)アバンテック
西浜1-11-4
☎(408) 12788

茜浜にある工業団地の一角に、自分たちのもつ技術と夢が、日本のみならず世界数カ国に認められはじめているベンチャー企業があります。今回は(株)アバンテック社長の工藤敏之さんにお話を伺いました。

工藤さんが、本田技研で長年オートバイや自動車の開発に携わってきた2人の技術者と知り合ったのが定年間の頃。会社を退いてもなお持ち続けてきた「画期的な乗り物を開発したい」という夢を叶えるために、みんなで会社を作ろうと呼びかけたのが創業のきっかけ。

「あらゆる乗り物が技術革新していく中で、自転車だけとは、前輪が一輪、後輪が二輪



▲社長の工藤さん

ですが、trikeは前輪が二輪、後輪が一輪といった構造で、他には見たことのない形をしています。

また、この自転車の大きな特徴は、自転車に乗ることの出来ない人でも簡単に乗ることが出来るという点で、その秘密は人間の骨盤をヒントにした「パラレル・リンク・システム(PLS)」にあります。

普通、前輪が二輪ならば、カーブを曲がる際に車体のバ

ランスを崩してしまいそうですが、このPLSが付いていることによって前輪と後輪が同時に傾斜するので、低速時やコーナリングでも傾斜45度までならスムーズなハンドリングが可能となり、安定性・スピード感ともに抜群で、さらに、デコボコ道でのショックを普通の自転車の半分以下に下げることが出来るので、まさに子供からお年寄りまでが乗れる夢の自転車です。

以前、大手メーカーが何年もかけて研究し、多額の投資を行ってもできなかったというこの「PLSシステム」は現在世界14ヶ国に特許出願中で、既にアメリカと中国では取得されているそうです。

「このPLSを、ロボット技術や建設機械など、様々な技術に応用していくのが私の夢です」と工藤さん。会社自体も、中小企業庁からの創造法認定企業の適用を受け、中小企業活性化支援金を受けるなど、さまざまな信用を得てきました。

現在は、良品計画からの受注により、「無印良品」店で販売しているほか、取扱代理店も増えてきているそうなので、街中での夢の三輪自転車「trike」を目にする機会が増えてきそうです。

※trikeに関するお問い合わせは直接、(株)アバンテックまで。
定休日 年中無休
営業時間 9:00~19:00



▲この部分が「PLSシステム」



▲夢の新三輪自転車「trike」

MIDイオン津田沼ショッピングセンター(仮称)
への出店仲介

来秋オープン予定の「MIDイオン津田沼ショッピングセンター」への出店仲介をします。
出店を希望される方は、習志野商工会議所経営室 道場 ☎(452) 6700までご連絡ください。

【応募のきまり】1人1通まで。応募用紙に必要事項を記入のうえ、FAX(452) 6744または、ハガキ〒275-0001 習志野市津田沼5-12-12または、Eメール: key21@narashino-cci.or.jp まで。【ごめね】1月24日(金)必着

なやみごと・相談受付、お気軽にご相談下さい 顧問弁護士 渡辺 惇先生 ☎(472) 0911